

梅調味液バイオガス発電所竣工のお知らせ

中田食品株式会社(代表取締役 中田 吉昭:本社 和歌山県田辺市下三栖 1475)は、平成31年3月28日に「梅調味液バイオガス発電所」の竣工式を行い、4月1日より営業運転を開始したことをお知らせします。

当施設は調味梅干し製造の際に発生する調味廃液を処理する嫌気性処理施設で、酸性・高塩度で処理困難な梅調味廃液を高効率で浄化処理を行い、その運転の際に発生するバイオガス(メタンガス)を利用した発電施設となります。

中田食品が嫌気性処理バイオガス発電プラントを建設、宮惣ケミカル株式会社(代表取締役 宮本 耕平:本社 和歌山県田辺市東陽 41 番 51 号)に管理・運営を委託します。

廃棄される梅調味液を再利用したエネルギーの創出で、環境への負荷を低減し、地球温暖化防止に貢献できる施設となります。

この地域に数多くある同業他社の調味廃液も同プラントで処理できるようになり、処理負担の軽減と梅産業の持続的な発展に貢献していきたいと考えております。

<バイオガス発電プラント概要>

設備名称	梅調味液バイオガス発電所
所在地	和歌山県西牟婁郡上富田町生馬 674 番 2
運営主体	宮惣ケミカル株式会社
プラント製造	住友重機械エンバイロメント株式会社
設備能力	梅調味廃液処理量 20 m ³ /日
発電機出力	360kW
年間発電量	200 万kWh (一般家庭 400 世帯相当)
CO ² 削減量	1,000トン/年



梅調味液バイオガス発電所外観